

2020.01.16

InterRisk Thai Flood Report <2020 No.01>

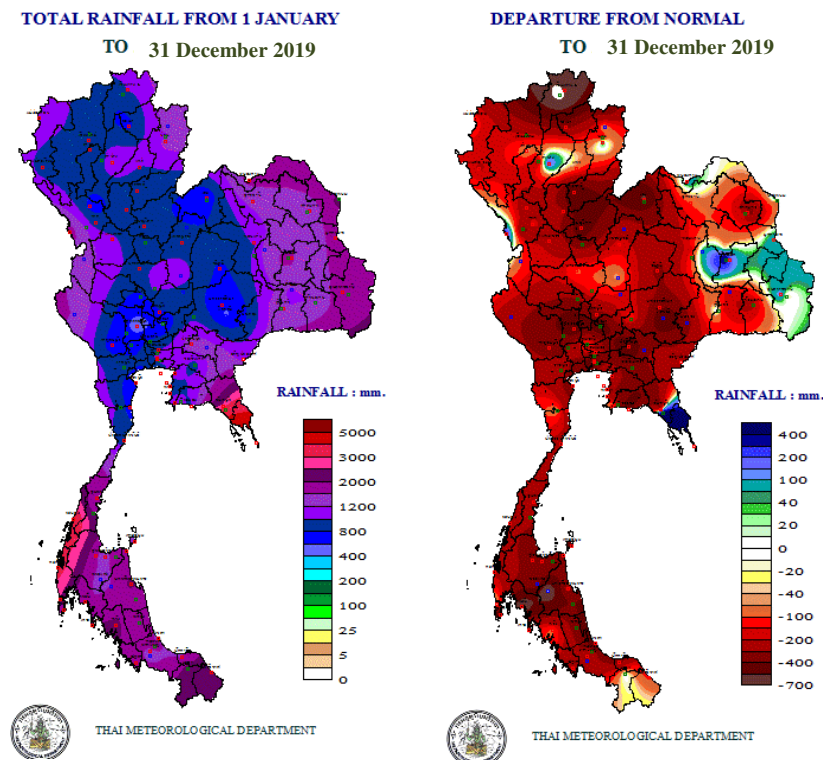
タイの渇水・洪水情報

概要

- ✓ 現在、タイは 1979 年以来、過去 40 年間で最悪の渇水に見舞われています。
- ✓ タイ気象局（Thai Meteorological Department: TMD）によれば、特にタイ北部、北東部、中央部において 6 月まで平年より降雨日数が少ない時期が継続する見込みです。
- ✓ 現時点で、タイ全土のダム、貯水池における平均貯水率は 60%（491 億 m³）であり、主要ダムの貯水率は軒並み低い状況です。
- ✓ Chonburi、Rayong では工業地域における渇水の影響が懸念されており、食品製造業では果物、野菜などの不足による原材料費の高騰も予測されています。

降雨量

- ✓ 下図は 2019 年 1 月 1 日～12 月 31 日の累積降雨量（左）と、累積降雨量の平年（直近 30 年の平均降雨量）との差（右）を示しています。
- ✓ 昨年の降雨量はタイ全土の平均で平年を 5% 下回っています。
- ✓ 累積降雨量の平年との差（右図）より、特にタイ中央部、南部、北部の降雨が少なかったことが分かります。



渇水の状況

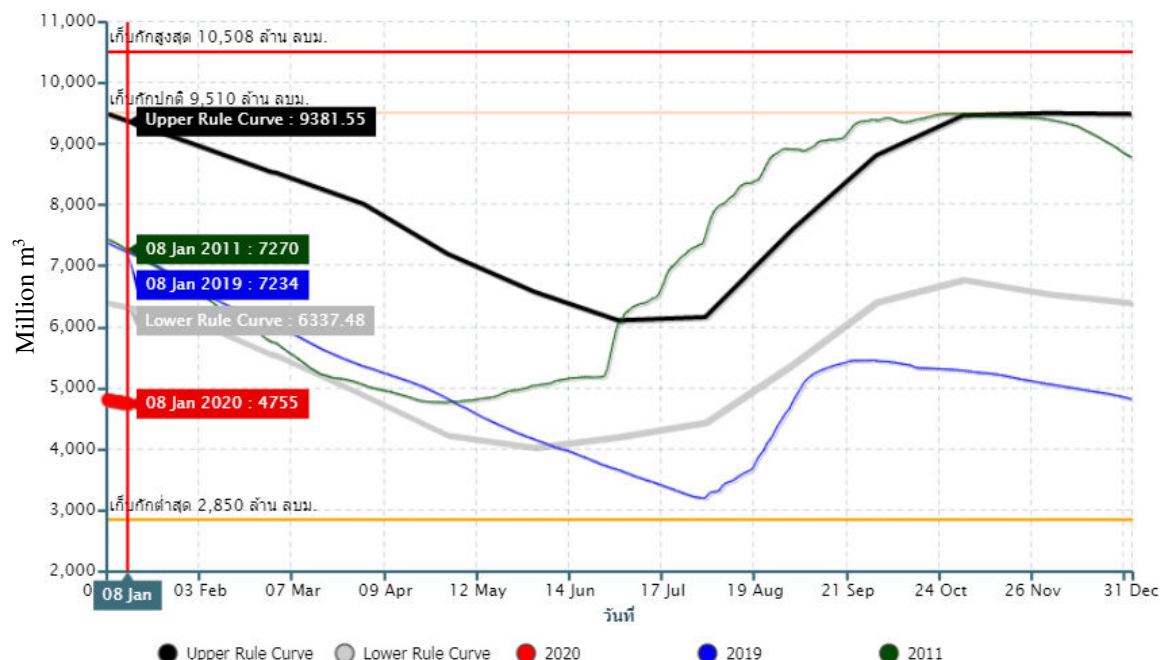
- ✓ 王室灌漑局（Royal Irrigation Department: RID）が 2019 年 12 月 1 日に公表した情報によれば、タイ全土の大型ダム、中型ダムにおける合計貯水量は 490 億 m³ であり、これは前年同時期の貯水量（601 億 m³）と比較して約 110 億 m³ 少ない水量です。
- ✓ Chaophraya 川への雨水の流入量が少ないことから、昨年 11 月からいくつかの地域では渇水による影響が生じています。現在のタイ全土のダム、貯水池における平均貯水率は 60% であり、主要ダムの水位は低く、特に次に示す 13 基のダムでは今後の推移に注意が必要です。
Mae Kuang ダム、Sirikit ダム、Bhumibol ダム、Mae Mok ダム、Tub-Sarao ダム、Chulabhorn ダム、Ubun Rattana ダム、Lam-Phraploeng ダム、Lam Sae ダム、Lam Nang Rong ダム、Pasak ダム、Klong See Yud ダム、Nongplalai ダム
- ✓ Chaophraya 川流域の渇水対策（水利用計画）は既に下表のとおり策定されています。1 月～7 月の合計供給水量は 62.31 億 m³ で、2 つのフェーズに分けてそれぞれの用途に供給されます。なお、Mae Klong 川からは、いずれのフェーズについても水が供給されるということです。

第 1 期 (40 億 m ³)		第 2 期 (22.31 億 m ³)	
時期	1 月～5 月	時期	5 月～7 月
生態系の維持	22 億 m ³	生態系の維持	-
生活用水	11.5 億 m ³	生活用水	18.45 億 m ³
農業用水	5.15 億 m ³	異常気象への 予備用水	3.86 億 m ³
工業用水	1.35 億 m ³	工業用水	-
合計	40 億 m ³	合計	22.31 億 m ³

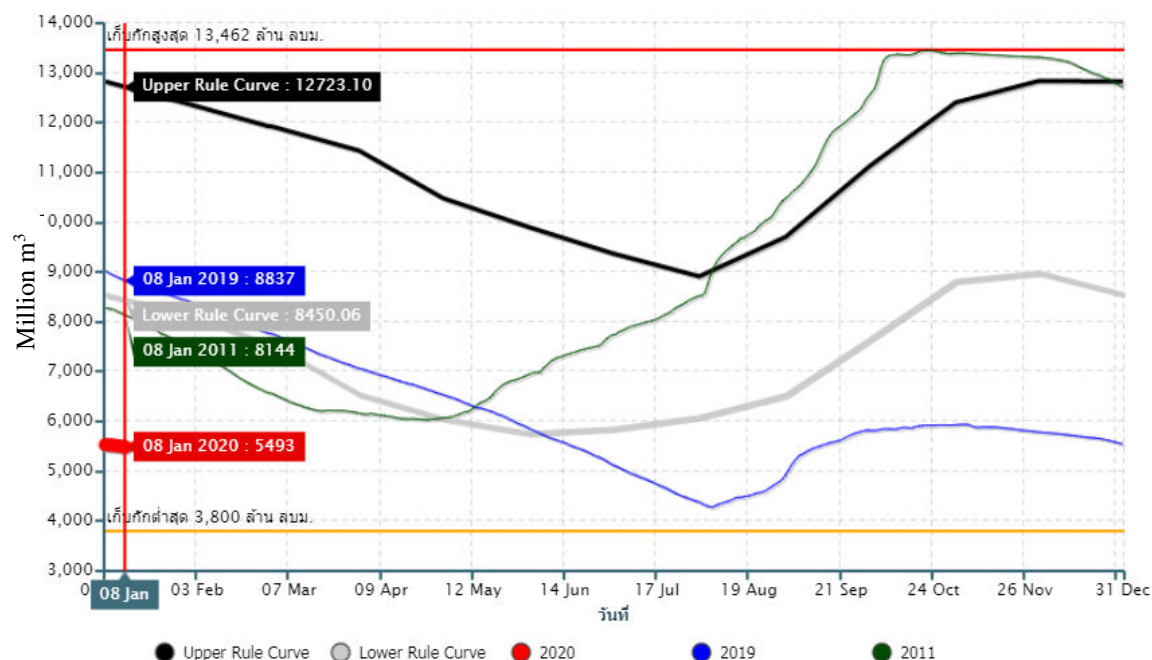
- ✓ タイ東部の郊外では 10 年前の渇水と同様の状況になっています。Rayong 県、Chonburi 県の水消費のうち 60～70% は工業用水と言われており、両県は Klong Yai、Prasae、Nongplalai、Dourkrai など共通の水源を利用していること、これらの水源の貯水率が 50% を下回っていること、また、今後の想定降雨日数も平年を 3～5% 下回ることから、深刻な水不足が懸念されています。

ダム貯水量 (Sirikit ダム、Bhumibol ダム)

貯水量 : Sirikit ダム (貯水率 50%)



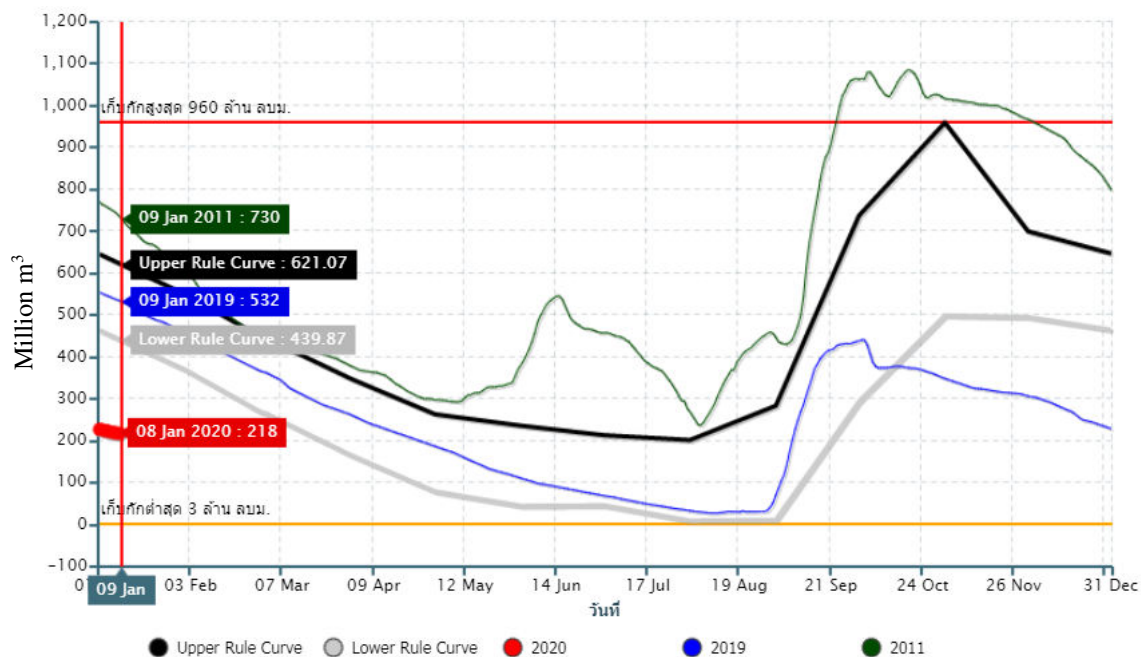
貯水量 : Bhumibol ダム (貯水率 41%)



Sirikit ダム、Bhumibol ダムともに貯水量は漸減しています。現在の Sirikit ダムの貯水量は 47.55 億 m³ (貯水率 50%)、Bhumibol ダムの貯水量は 54.93 億 m³ (貯水率 41%) です。これらの貯水量は 2018 年、2019 年のおよそ半分です。

ダム貯水量 (Pasak ダム、Kwaenoi ダム)

貯水量 : Pasak ダム (貯水率 23%)



貯水量 : Kwaenoi ダム (貯水率 45%)



Pasak ダムの貯水量は 2.18 億 m³ (貯水率 23%)、Kwaenoi ダムの貯水量は 4.22 億 m³ (貯水率 45%) です。これらのダムの貯水量も漸減しており、特に Pasaki ダムの貯水量は非常に少ない状況です。

チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム上流：2020年1月8日時点）

昨年11月から水位は低下し続けています。東部および西部運河の水位は昨年11月から約半分になっています。

Water Situation in the Chao Phraya River
8th January 2020

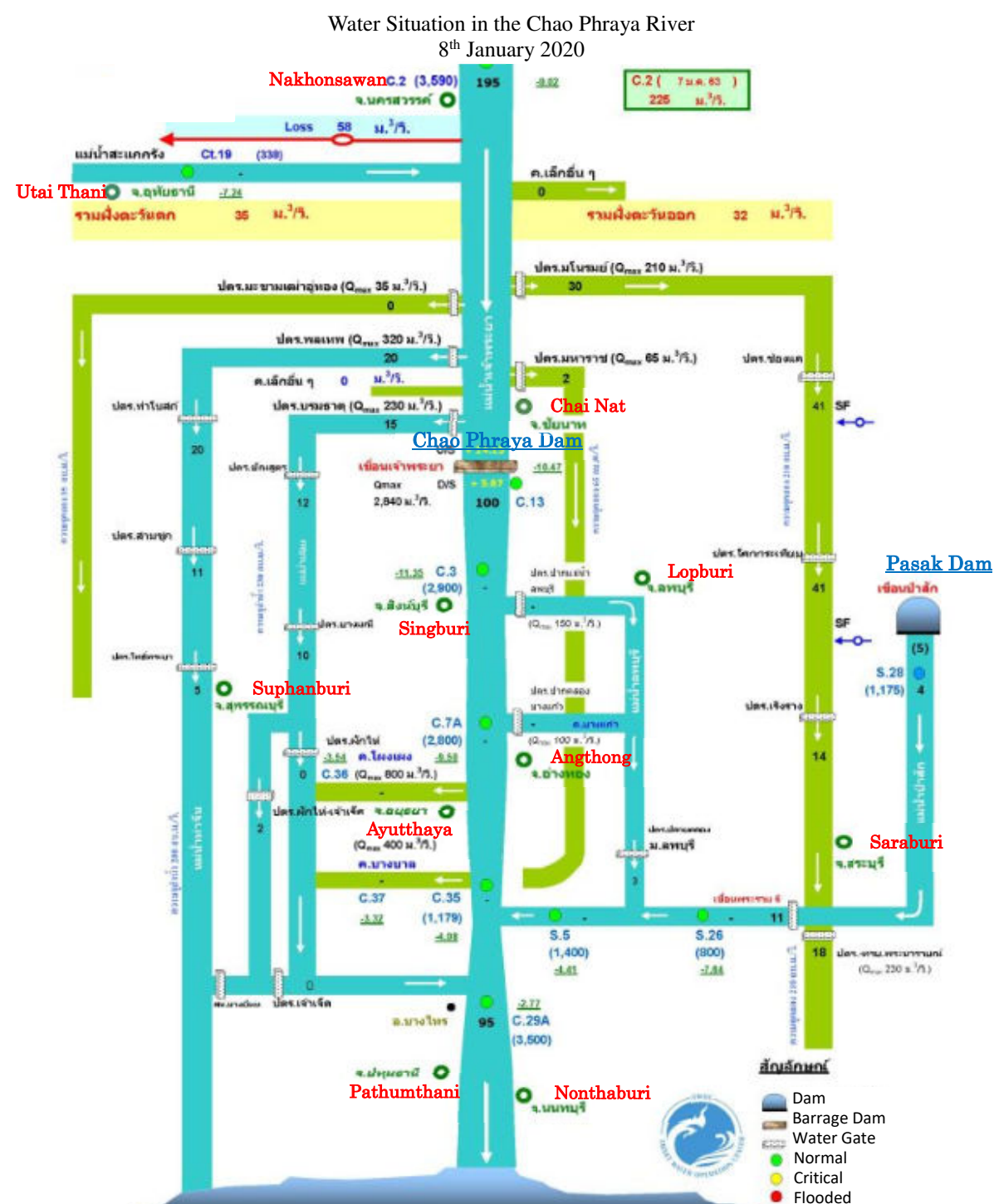


【備考】

- ①河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量（m³/sec）
- ②上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量（①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生）
- ③上記②に付随する「アルファベット+数値（例：N.67）」：観測所の名称
- ④緑文字・－（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0になった場合、洪水が発生）

チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム下流：2020年1月8日時点）

昨年11月から水位は低下し続けています。特に Pasak 川の水位が低下しています。



【備考】

- ① 河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量 (m³/sec)
- ② 上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量（①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生）
- ③ 上記②に付随する「アルファベット+数値（例：N.67）」：観測所の名称
- ④ 緑文字・－（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0になった場合、洪水が発生）

参照

https://www.tmd.go.th/monthly_forecast.php

<http://www.arcims.tmd.go.th/dailydata/yearRain.php>

http://www.thaiwater.net/DATA/REPORT/php/rid_lgraph3.php?dam_id=19

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_up.php?cal2=15102019

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_low.php?cal2=15102019

<https://www.bbc.com/thai/thailand-51004534>

<https://www.prachachat.net/economy/news-398334>

<https://workpointnews.com/2020/01/07/drought-4/>

MS&AD インターリスク総研株式会社は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

MS&AD インターリスク総研（株） 総合企画部 国際業務グループ

TEL.03-5296-8920

<https://www.irric.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立された MS&AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等における火災リスク調査や洪水リスク評価、ならびに交通リスク、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.

175 Sathorn City Tower, South Sathorn Road, Thungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120, Thailand

TEL: +66-(0)-2679-5276

FAX: +66-(0)-2679-5278

<https://www.interriskthai.co.th/>

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。

また、本誌は、読者の方々に対して企業の CSR 活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright MS&AD インターリスク総研株式会社 2020